

宇都宮市議会議員

山崎まさこ通信

いつも
ありがとう
ございます

笑顔あふれる宇都宮へ

ごあいさつ

皆様には日頃より温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。子育てする母として、働く女性の視点、そして青少年活動の経験を生かしながら市政発展に全力で取り組んでいます。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

山崎まさこ

議会活動

4年間で一般質問に8回登壇し、今年度は、6月・12月議会において、市長の政治姿勢や市政に対する質問を行い、「子ども・子育て支援」の強化、高齢福祉の充実、国際化への対応、経済の活性化などについて提案要望を行いました。これからも皆様のご意見・ご要望を議会活動につなげ、安心して住みよい環境整備を推進してまいります。

平成27年厚生常任委員会、平成28年建設常任委員会(委員長)、平成29年総務常任委員会、平成30年環境経済常任委員会(副委員長)、広報広聴委員会(委員長)



活気あふれる宇都宮をめざします。



文化の薫る宇都宮市。歴史ある伝統行事を継承していきます。



鶴田羽黒神社祭天祭り



市政報告会を行い、地域課題について意見交換を行いました。



市政報告会



スポーツ振興を!「とちぎ国体2022」に向けて、新スタジアム建設現場視察。



西川田のスポーツゾーン現場見学



「全国市議会議長会研究フォーラムin宇都宮」で、宇都宮PRコーナーの司会をいたしました。



全国市議会議長会フォーラム

子どもは未来の宝。大切に育む宇都宮へ

宇都宮市は共働き子育てしやすい街ランキングで日本一!!

私は、仕事と子育て両立の経験から、出産前から出産後の切れ目ない子育て支援強化に取り組んでいます。日本経済新聞社と日経BP社『日経DUAL』で実施している「共働き子育てしやすい街ランキング2018」において、宇都宮市が初めて日本一を獲得したことは誠に喜ばしく、全国に誇れる取り組みと感じています。本市は0歳児の入所のしやすさで高得点を得たほか、不妊治療向けの助成や産後ケアなど、出産前から出産後の切れ目ない支援、学童保育の充実などが評価されています。

宇都宮市オリジナルの取り組み

■ 1歳児クラス受け入れ促進のための補助(平成29年4月開始)

- ・ 待機児童の多くが1歳児であることから、入所促進につながるよう、1歳児を多く受け入れる施設に対して、安全対策に必要な経費を市単独で助成。

■ 病児保育送迎対応(平成29年3月開始)

- ・ 保護者の代わりに病児保育施設の看護師等が保育施設に迎えに行く「送迎対応」を実施。

■ 産後ケア事業・産後サポート事業(平成29年10月開始)

- ・ 産後健康診査で産後うつ疑いがあると判定された人などを対象に、心身のケアや育児サポートを行う宿泊型・通所型・訪問型の「産後ケア事業」を実施。
- ・ 助産師等の専門職による居宅での相談支援や継続的な見守りを行う「産後サポート事業」を実施。
- ・ 利用料金の8割を公費負担。
- ・ 生活保護世帯や市民税非課税世帯は、利用料金の10割を公費負担。

■ 特定不妊治療支援制度(平成16年4月開始、平成30年拡充)

- ・ 体外受精などの不妊治療費の初回助成額について、治療費の全額助成となるよう、国基準の30万円に15万円を加え、中核市1位となる45万円を上限額に助成。
- ・ 2回目以降についても、継続的な治療が行えるよう、国基準の15万円に15万円を加え、30万円を上限額に助成(最大で初回助成を含む通算6回、年齢制限有)。



誰もが安心・快適に暮らせるまちへ

高齢者や障害を持った方も、買い物や通院、趣味などの外出ができるよう、鉄道やLRT、バス、地域内交通、自転車などが効率よく連携した「公共交通ネットワークの構築」が必要です。生活に不便な公共交通空白地域が市内には存在しており、地域内交通と幹線交通を結ぶことが急がれます。地域内交通は、乗り降りしやすいユニバーサルデザイン車両が大変好評であり、利用者増が見込まれます。バス路線の充実や、地域内交通と幹線交通の連携を推進し、誰もが安心・快適に暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

